2024年2月4日　インド大使館　バガヴァッド・ギーター

・朗誦：第13章33節～第14章5節

・引用：第5章23節

おはようございます。

1月の話は、「快楽の欲望の源」についてとても大事な話をしました。

快楽の結果はいつも悲しみや苦しみですから、もしその源がわかれば、どのように抵抗すれば良いのか、どのように直せば良いのかわかります。大事なことは快楽の欲望の源を知ることです。

前回は快楽の結果、我々はどのくらい苦しみ悲しんでいるか、困っているかをたくさん説明しました。

そしてドゥッカ・ヨーナヤ（苦しみ悲しみの原因）について４つの観点から説明しました。

**①心理的な原因からの説明**

最初、人や物を見て想像を始めます。

↓きれい、美しい、楽しみのものなど、その人や物について想像すると、そのイメージは心に残ります。

何回もイメージを思い出すと、その人や物が好きになります。

↓

好きになると、それが欲しくなります。－それが欲望のメカニズムです。

人の「認識」というものは、間接的なもので直接ではありません。

本当の人、本当の物は何なのかわかりません。しかしその物から出ている「波動」が認識できます。

ですから、中の器官、外の器官は機械のようなものです。

バガヴァッド・ギーター第2章の中で、アルジュナの質問は、「安定した智慧のしるしは何ですか」というものでした。

**②トリグナからの説明**

サットワから欲望は出ません。良い願いだけです。ラジャス、タマスから欲望が出ています。我々の性格の中にはラジャス、タマスがいっぱいですから、その願いが欲望になっています。

このようにトリグナからも説明できます。今日、初めに皆さんが読んだギーターの第14章の中に、トリグナの話がたくさん書かれてあります。

**③チャンディからの説明**

マハーマーヤー（偉大なマーヤー）には２つあります。

ヴィッディヤ・マーヤーとアヴィッディヤ・マーヤーです。

アヴィッディヤ・マーヤーは欲望の原因ですが、ヴィッディヤ・マーヤーは欲望を取り除きます。

その説明でチャンディのことを話ました。

**④輪廻とサムスカーラからの説明**

サムスカーラは日本語では「傾向」と訳しますが、もっと深い意味があります。サムスカーラは今生だけではなく、前世からも引き継がれています。我々は何回も何回も生まれ変わっていますから、たくさんの転生での印象が残っています。それが「傾向」です。ですから「傾向」という日本語では、そのような印象が出ません。

前世に、あるものを楽しんだとします。例えば、何かをもらったり、おいしい食事をごちそうしてもらったり、いろいろ楽しい思いをしたとします。それを何回も何回も経験すると、今生でも、前世経験した楽しみのボーガ・スカの経験を思い出します。それは前から潜在意識にありますから、その楽しみの状況に入ると、眠っていたサムスカーラは目覚めて欲望がでます。ボーガ・スカは楽しみのサムスカーラです。

次のポイントは、ボーガ・ドゥッカです。

我々は過去に快楽を楽しんだ結果、苦しんだ経験もありました。しかしその時の苦しみは忘れて、楽しみの経験だけを思い出します。どうして楽しみだけ思い出して、苦しみは思い出さないのでしょうか？

それは、我々の本性は永遠の楽しみ、至福（サチダーナンダ）ですから、楽しみの部分だけ思い出すのです。

また、マハーマーヤーの願いで、我々は大変な経験や困った事を忘れて、楽しみの記憶だけを思い出します。もし苦しんだ経験を思い出せるなら、二度と苦しみたくないと、皆さん森に入って瞑想して欲望を放棄してしまいますから。しかし、それではマハーマーヤーの創造は止まってしまいます。ですからマハーマーヤーは我々に、遊びを続けてほしいと願っています。お母さんは、子どもは他の子たちと公園で遊んだほうがいいと思っています。いつも部屋の中で勉強ばかりしているのは好きではありません。マハーマーヤーはお母さんと同じなのです。

**人生の目的**

今日は次の節、5章23節79ページを説明します。



シャクノーティー　ハイヴァ　ヤハ　ソードゥン　プラーク　シャリーラ・ヴィモークシャナート/

カーマ・クロードードバヴァン　ヴェーガン　サ　ユクタハ　サ　スキー　ナラハ //5-23

*肉体を脱ぎ捨てる前に、欲情とか怒りの衝動を抑える事の出来た人は、どのようでも永遠に心穏やかに過ごせる幸福な人である。 //5-23*

シャクノーティー：できる

イハ：今生に、この命（イハの本当の言葉の意味は「この」）

エーヴァ：本当に、絶対

ソードゥン：我慢する

プラーク：前

シャリーラ：肉体的な体

ヴィモクシャナ：無くなる

カーマ：包括的な意味で「欲望」、特別な意味で「肉欲」

オドバヴァン：出ている

ヴェーガン：強い衝動。「～しないといけない」

（例えば、トイレに行くのを我慢していたが、もう我慢できずトイレに「行かないといけない！」という感じ）

ユクタハ：偉大な魂と自分が一つになった状態。アートマンとブラフマンが１つになる状態。

「ヨーガ」と言葉の源は同じ（Unionの意味）。この節では「我慢することができる人」の意味。

サスキー：楽しんでいます。至福が出ます。

ナラハ：人

「プラーク　シャリーラ・ヴィモークシャナート」は「死ぬ前」

「カーマ・クロードードバヴァン・ヴェーガン」は「衝動（ヴェーガン）は欲望（カーマ）と怒り（クローダ）から」

この節の訳をまとめると、「怒りと肉欲から出ている、とても強い衝動を我慢することが出来る人は、神と自分、ブラフマンとアートマンが一つになり、本当の至福の状態になる。」という意味になります。

一番初めに大事な言葉は「イハ」。人間として生まれた今の命（In this life）の意味です。

皆さん人間ですから人間に生まれるのは普通です。しかしこの人間としての命は、他の生き物と比べてどのくらい違うか、深く考えればわかります。それについてこれから話します。

皆さんが人間の命で生まれてきたことは、とてもとても特別なことです。しかし残念なことにそれに気づいていません。せっかく人間として生まれてきたのに、人生の目的を理解していません。理解していないのでその目的を満足させていません。その結果、人生が無駄になっています。それは本当にもったいないことです。

そしてヒンズー教の聖典や他の聖典でも、何回も何回もいろいろな言葉を使って説明しています。

ですから、この人間の命として生まれた人生は、とてもとても特別だということに皆さん気づいてください。気づいていないですから、遊んだり、無駄な仕事をしてこの命を無駄に過ごしています。宇宙の中で一番高いものは人生です。

人間がどれくらいすぐれているのか、コーランの中にも書かれてあります。

コーランの中で、アッラーは土からアダムを作り、天使たちに彼の前にひれ伏すことを命じましたが、イブリース（IBLIS）はその命に従わなかったので悪魔になりました。

このように、神はご自分のイメージで人間を創られました。

ですからみなさん、人間の形で生まれたことは、とてもとても特別なことなのです。

子供の時はもちろん、若い頃はそれを理解していませんでした。30歳になっても理解していませんでした。今日参加された皆さんは、年齢はバラバラですが、少なくてもこれから気づいてもいいです。

しかしこれからも気づかないと、本当に残念なことです。ですからみなさん、人間の形で生まれてくるのは、とてもとても特別なことだということに気づいてください。

ヒンドゥー教の聖典の考えでは、何回も何回も数えらきれない転生を繰り返したあと、やっと人間の命で生まれてきます。例えば、草、木、魚、爬虫類、蛇、虫、猿、虎、雌牛、チンパンジー…、そのように何回も何回も生まれたあと、最後に人間の形で生まれてきます。

しかし、また動物の状態に生まれる可能性もありますので気をつけてください。今は人間の形で生まれていますが、とてもひどいこと（非道徳的なことなど）をすると、また虎やライオン、蛇の中に生まれる可能性もあります。聖典の中に出てくるバーラタは鹿に生まれました。バーラタは偉大な聖者でしたが、死ぬ前に、自分が飼っていた鹿にとても執着がありましたから、来生は鹿の命で生まれました。

**人として生まれた幸運**

シャンカラチャーリヤ（Shankarāchārya）が記した、とても有名な聖典「ヴィヴェーカ・チュラーマニ（Viveka-chudāmani）」（※①）があります。

Vivekaは「識別」、chudāmaniは「宝石」の意味で、「識別について最高の聖典」です。

その第3節は、人生についてとても大事な節ですから、みなさん覚えてください。

ドゥーラバン　トラヤン エーヴァ エータット

Durla Bham trayam-eva-etad

とてもめずらしいものが３つあります

デーヴァ　アヌッグラハ　ヘートゥカム

Deva-anugraha hetukam

神の恩寵だけでできる

マヌッシャットワム　ムムクシュットワム

Manushyatvam mumukshutvam

１つは人間として生まれる　次は解脱の願い

マハープルシャ　サムスラーヤハ

Mahapurusha Samsryayah

もう１つは偉大な人との交わり

＜単語の意味＞

Durla Bham：とても少ない、とてもめずらしい

trayam：３つ

Deva：神

Anugraha：恩寵

Hetukam：～できる

Manushyatvam：人の形で生まれる

Mumukshutvam：解脱の願い

Mahapurusha：Maha（偉大な）＋purusha（人）＝偉大な人、悟った人、聖者、神の化身

Samsryayah：交わり、避難所になる

＜節の意味＞

「本当に稀で神の恩寵による３つのことがあります。それは人間として生まれたこと、解脱の願い、悟った人との交わりです。」

その3つのものはとても特別で、神様の恩寵だけでできます。

我々は普通、「それが欲しい」と強く願って何かを得ますが、神様の恩寵だけで、その３つのとても珍しいもの（稀なもの）をいただくことができます。

その３つのものとは、①人間としてうまれること、②解脱の願い、③神を悟った人との交わり−です。

**真理を学びたいという願い**

皆さんが人間の形で生まれたのは、神様の恩寵で、本当にラッキー（幸運）なことです。

他にもラッキーなことがあります。それは何でしょうか？

解脱の願いは突然出てきません。霊的実践をして一歩一歩進み、最後に解脱の願いが出ます。

他に何かありますか？

（参加者）ヴェーダーンタの勉強に興味がある。それからマハラジとの交わりが好きです。

（参加者）人として生まれたり、マハラジに勉強を教えてもらったり一緒にご飯食べたりしてます。

例えば私の考えですが、皆さんこのような願いがありませんか？

・「真理とは何か」を学びたい

・インド哲学を勉強したい

・永遠の存在は何かを学びたい

・命について、人生について深く勉強したい

それは絶対に神様の恩寵です。この感じで一歩一歩進んでいきますとムムクシュットワが出ます。

それがファーストステップです。

インド大使館のバガヴァッド・ギーター勉強会に参加することもそうです。

インド大使館のそばに日本武道館がありますが、そのお客様の数と、このバガヴァッド・ギーター勉強会の参加者の数を比べてください。武道館のお客様の数は1万人以上です。しかしそのお客様は、バガヴァッド・ギーターには興味もやる気もありません。しかし皆さんは勉強したいという願いが出ていますから本当にラッキーです。これが２つ目のラッキーです。絶対神様の恩寵です。絶対あなたは前世で良いことしましたから、そのカルマの結果でその願いが出たのです。

（参加者）私は妻に連れられて勉強会に来たので、自分の意志で来たわけではありません。

そうではありません。自分のカルマの結果で奥さんと繋がり、結婚しました。そして奥さんから助言が出ました。どこの家族に生まれるのか、どのような家族か、どのような場所で生まれるのかも、すべて前世の良いカルマの結果ですから。

今生では特別何も思い当たることがなくても、必ず前世に関係があります。

**バガヴァッド・ギーターを学べる幸運**

３つ目のラッキーは、聖典はいろいろありますが、バガヴァッド・ギーターの勉強はとても特別で、それを学ぶことができることです。

ある時、若いお坊さんが、シュリー・ラーマクリシュナの直弟子であるスワーミー・サーラダーナンダジに尋ねました。「マハーラージ、なぜあなたは、いつもバガヴァッド・ギーターのことばかり話しているのですか？」「あなたは、もしバガヴァッド・ギーターと同じくらい素晴らしい、別の聖典の名前があったら言ってください。」

もちろん、ラーマクリシュナの福音や聖書、コーランもあります。しかしバガヴァッド・ギーターはとてもとても特別です。他の聖典を我々は深く尊敬していますが、バガヴァッド・ギーターは特別です。

インドだけでなく他の国でも人気です。他の宗教の信者も大好きです。イスラム教、キリスト教、仏教の方にも人気です。

その理由の一つは、バガヴァッド・ギーターにはとっても純粋で霊的なことが書かれているからです。

儀式や超能力などについては書かれていません。本当の霊的なエッセンスだけです。

シュリー・ラーマクリシュナは言っていました。「砂の粒と砂糖の粒が混ぜてあるように、ある聖典には、大事なことと大事ではないことを混ぜて書いてあります。ですから、読む人は区別しなくてはいけません。」

それに対して、バガヴァッド・ギーターは全部大事です。全て砂糖の粒です。甘露です。ウパニシャッドのエッセンスです。

もう一つの理由は、バガヴァッド・ギーターは包括的です。ラージャ・ヨーガ、バクティ・ヨーガ、カルマ・ヨーガ、ギャーナ・ヨーガ、すべてのヨーガが入っています。

また、形がある神様、形がない神様、形はないが性質はある神様など、様々な神様のアイディアがバガヴァッド・ギーターには入っています。

もう１つは普遍的です。ヒンドゥ教ばかりではなく、他の宗教の皆さんもバガヴァッド・ギーターを勉強できます。女性、男性、上のカースト、下のカースト、貧しい人、お金持ち、罪人、聖者、皆さんのために

バガヴァッド・ギーターはあります。

もう１つは、とても論理的です。「信じなさい」とは言いません。バガヴァッド・ギーターの中で、アルジュナは時々混乱してクリシュナに質問します。それに対してクリシュナは論理的に説明しています。

もう１つは、とても古い聖典ですが現代的です。少なくても3000年前以上前に書かれたものですが、書かれてある教えは、今も我々を助けています。霊的な人だけでなく、普通の人たちの生活も助けているのでとても人気です。

例えば、食べ物、飲み物、楽しみの基準についてや、どんな楽しみが良いのかどんな楽しみが良くないのかなど、日常生活の細かいアドバイスもあり、人生について大事なことがたくさん書かれてあります。そのような聖典を勉強できるあなたは、とてもラッキーです。

**実践者から教わることのできる幸運**

では、皆さんはその聖典をどなたから勉強していますか？

バガヴァッド・ギーターが生まれた国、インドで生まれた方から勉強しています。ですから実際のインドの伝統やインドの雰囲気がわかります。

もう一つは、少しですけど実践している出家僧から勉強しています。

最後のラッキーのポイントはなんですか？

母国語の日本語で勉強しています。通訳者がいたり、翻訳で勉強することもできますが、母国語の方が簡単です。

もし通訳者がいますと講演者の言っていることと通訳者が言う事が違うこともあります。通訳者は一生懸命やっていますけど通訳は簡単ではないので、時々講演者の本当に言いたいことと通訳が違うこともあります。インド哲学を勉強していない通訳者はもっと難しいです。

もう一つ、日本語で話を聞きますと、バイブレーションとインパクトが、直接ハートに入ります。通訳者がいますと間接的です。今は日本語だけで聞いていますけど、昔は新橋で勉強会は通訳者がいました。

この聖典は本当はサンスクリット語ですから、母国語（日本語）で勉強できるのは特別です。

ですからあなたはラッキーです。これも神様の恩寵だということをいつも思い出してください。

**人間はなぜ特別なのか**

それから、人間はどうして特別ですか？

神様の中にもいろいろなレベルがあって、偉大な神は、創造神ブラフマー、ビシュヌ、シヴァなどで、

普通の神様は、神道の神々や天国に住んでいる神々などです。

今、普通の神様と人間、動物と人間を比べてみると何が違うのか、何が特別なのかわかります。

楽しみと苦しみ両方、前のカルマの結果で経験しています。良いカルマの結果で天国に行き、悪いカルマの結果で動物になります。天国は楽しみのことばかりで、動物になると苦しみや大変なことばかりです。そして新しいカルマはできません。前のカルマの経験だけでできています。

①動物と人間

動物は「感覚のレベル」、「肉体的なレベル」で住んでいます。そして３つの目的、「食べる、寝る、子供を作る」だけで生きています。それが動物の命です。

また動物には、心、感覚、知性もあります。しかし動物の知性には限度があります。

例えばラーマクリシュナ福音の中にあります。ラーマ神様（ラームチャンドラ）は弟のラクシュマナに言いました。「象はとても大きくて力も強いですが、神様のことを考えることはできないです。」

動物は知性があっても、高い考えをもったり、精妙なことを考えたり、神様のことや解脱を考えることはできないです。

人間には良心があります。高いことを考えたり神様のこと考えることもできます。解脱を考えることもできます。考えるだけではなく、解脱するために働くこともできます。

人間も体のレベル、感覚のレベル、心のレベル、知性があり、その点では動物と似ていますが、人間は他にもいろいろできます。それが動物との違いです。

どうして人間の命で生まれたことが特別なのかわかりましたか？

②神様と人間

次に、神様と人間を比べてみてください。

天国は全部楽しみだけです。何も新しい勉強はできません。解脱もできないです。もし神様も解脱したいなら、人間の形で生まれなければいけません。

ですから、人間として生まれた大きな目的は解脱です。真理を悟ることです。そうしないともったいないです。

しかし人間の中にも動物のような人がたくさんいます。体と感覚、心、知性（高い知性ではない）のレベルに住んでいる人です。

それに対して霊的な人は違います。真理を勉強したいと思い、努力してだんだん霊的に進んでいきます。中には、今生で解脱への本当の願いが出る人もいますし、今生でなくても来生に解脱の願いが出る人もいます。

ですけれども、皆さんは神様の恩寵で、すでにファーストステップ、最初の段階はできました。

**「良心」も神様の恩寵**

先ほど、人間の中に何が違うか話しました。

「良心」の心を持てることも神様の恩寵です。

「良心」には２つあって、１つは「道徳的」、もう１つは「霊的」です。

「道徳的な良心」の例は、嘘をつかない、暴力を振るわない、盗みをしない、自分の義務をする、貞潔。

「霊的な良心」を持った人は、実在と非実在、永遠と無限、知識と無知、自由と束縛、プレーヤとスレーヤ、それが識別できる人です。

もし霊的に進みたいなら「道徳的な良心」では十分ではなく、「霊的な良心」まであがらないといけないです。

それが人生の目的です。

そうしないと人間の形で生まれていますけど、人生が無駄になります。

みなさんそれを忘れずに、気をつけてがんばってください。ありがとうございました。

※①

「ヴィヴェーカ・チュラーマニ」：ローマ字で表した場合「Vivekachdamani」と記すので「ヴィヴェーカ・チューダーマニ」という表現が一般的です。しかし本来のサンスクリット語の発音に従うと、映像の中でマハーラージが話しておられる「ヴィヴェーカ・チュラーマニ」という発音になります。カタカナ表記をするのは難しい発音ですが、講話終了後マハーラージは、「ヴィヴェーカ・チュラーマニと発音してください」とのことでしたので、この勉強会では後者で表現させていただきます。